

BOOK FOREST



令和3年9月17日(金)

おおづちゅうがっこうとしょかん
大津中学校図書館

ぶんせき みやの かおる
文責:宮野 薫

あたら ほん はい 新しく本が入りました。こんかい すく 今回は少なめですが、おも こくご きょうかしよ しょうかい 主に国語の教科書で紹介されているほん とど 本が届いています。いちぶ しょうかい 一部を紹介します。かくがくねん こくご きょうかしよ 各学年の国語の教科書には、たくさんのほん 紹介されています。あつ づく 集めてコーナーを作っていますので、ぜひよ 読んでみてください。



『安藤百福』筑摩書房編集部 (筑摩書房)

2年生

48歳でチキンラーメンを開発し、食に革命をもたらした発明家・安藤百福。「挑戦に遅すぎることはない」食を通して人々の幸せを追い続けた男の物語。



『カレーライスを一から作る』前田 亜紀 (ポプラ社)

3年生

みんなが当たり前前に食べている「カレーライス」。その材料、野菜、スパイス、肉、米、塩、そして器とスプーンをすべて「一」から作った大学生たちの、9カ月間の記録。

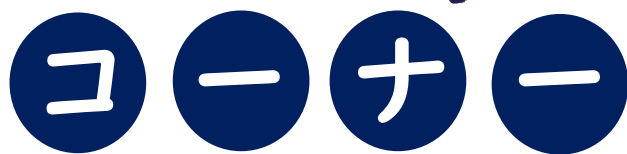


『働きたくないイタチと言葉がわかるロボット』川添 愛 (朝日出版社)

3年生

なんでも言うことを聞いてくれるロボットを作ることにした怠け者のイタチたち。ところがどのロボットも「言葉の意味」を理解していないようで…。

こんな



あります!

「教科書サキドリ」(図書館入口近く)



ぜんがくねん こくご きょうかしよ 全学年の国語の教科書に紹介されている本を集めています。小説だけでなく色々なジャンルの本があります。

「大津町の話」(畳コーナー掲示板)



「熊本日日新聞」から、大津町に関する記事を切り抜き掲示しています。身近なあのひと・あの場所のニュースがあるかも!?

「勉強法の本」(畳コーナー近く)



テスト対策、受験への心構えから勉強法についての本や、漢検や英検などの検定試験の過去問もあります。

「カワイイ！」だけじゃない



どうぶつあいごげっかん 動物愛護月間



『犬たちをおくる日』いぬ今西 ひまにし 乃子 のりこ (金 きんの星社 ほししゃ)

愛媛県動物愛護センターには、たくさんの犬や猫が持ち込まれ、殺処分される。500円欲しさに小犬を持ち込む子ども、犬を捨てに来た帰りに新たな小犬を欲しがる大人、殺処分される直前に記念撮影に来る親子…。「この命灰になるために生まれてきたんじゃない。」命の重さを改めて考える。



『ゼロ!』かたの片野 しゅうえいしゃ ゆか (集英社)

「動物を殺すのはいやだ!」一歩を踏み出した行政職員と、それをサポートし続けた市民たち。不可能だと思われてきた犬猫の殺処分を10年がかりで実現した、熊本市動物愛護センターの歩み。



『竜之介先生、走る!』りゅうのすけせんせい 片野 かたの ゆか (ポプラ社)

大災害がおこったら、ペットと一緒にどうやって生き延びる?熊本地震のとき「ペット同伴避難所」を開いて多くのペットと飼い主を救った獣医師の物語。災害とペットについて考えるきっかけに。



『野生動物のお医者さん』やせいどうぶつ 齊藤 いしや 慶輔 さいとう けいすけ (講談社 こうだんしゃ)

野生生物保護センターで、絶滅の危機にひんした猛禽類を治療する獣医師。「野のものは野に帰してやりたい」と語る齊藤氏の仕事のゴールは、傷の完治ではなく動物を野生に帰すこと。野生動物専門の獣医師の立場から、野生動物の現状や命の重みといった問題にせまる。



『図書館ねこデューイ』としょかん ヴィッキー・マイロン (ポプラ社 しや)

凍えるようなある冬の朝、アメリカの田舎町の図書館長ヴィッキーは、返却ボックスの中で震えている子ねこを見つけた。「この子は図書館に必要」とヴィッキーは直感し、子ねこは「図書館ねこデューイ」となった。デューイに会うために図書館に人が集い、語らうようになる。